



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 丸紅建材リース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9763 URL <http://www.mcm1-maruken.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清水 教博
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経営管理本部長 (氏名)齊藤 正視 TEL 03(5404)8200
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,913	△10.8	126	3.9	190	14.8	152	2.8
24年3月期第1四半期	4,389	△0.2	121	—	165	—	148	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 170百万円(15.6%) 24年3月期第1四半期 147百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	4.56	—
24年3月期第1四半期	4.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	28,314	7,834	27.7
24年3月期	28,824	7,731	26.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 7,834百万円 24年3月期 7,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	17,000	0.8	300	17.2	400	4.2	350	3.9	10.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、業績管理を年次で行っているため、開示していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年3月期1Q	34,294,400株	24年3月期	34,294,400株
25年3月期1Q	904,039株	24年3月期	902,653株
25年3月期1Q	33,391,125株	24年3月期1Q	33,395,203株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として緩やかながら回復の動きが見られたものの、長期化する円高の影響や欧州債務危機による海外景気の減速懸念等により不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く建設業界におきましては、遅れていた震災復旧・復興関連事業が始まり、首都圏においても再開発等の大型プロジェクトが進行している一方、その他地域での公共投資や民間設備投資は低迷しており、全体としては依然として厳しい環境が続きました。

このような経営環境のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高39億1千3百万円（前年同四半期比4億7千6百万円、10.8%減）、営業利益1億2千6百万円（同4百万円、3.9%増）、経常利益1億9千万円（同2千4百万円、14.8%増）、四半期純利益1億5千2百万円（同4百万円、2.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①重仮設事業

販売物件の減少により、売上高は30億3千5百万円（前年同四半期比4億5千7百万円、13.1%減）、セグメント利益は2億1千3百万円（同6千4百万円、23.2%減）となりました。

②重仮設工事事業

前期と同様に受注工事案件の小口化により、売上高は3億7千7百万円（同7千4百万円、16.5%減）となりましたが、利益率の改善によりセグメント損失は3百万円と、前年同四半期比1千4百万円の改善（損失減）となりました。

③土木・上下水道施設工事等事業

官庁関係の土木工事を中心に利益率の高い完工案件が増加したため、売上高は5億円（同5千6百万円、12.7%増）、セグメント利益は5千2百万円（同2千3百万円、78.9%増）と増収増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少額1億6千1百万円、未成工事支出金の減少額1億6千4百万円などにより、前期末比5億9百万円減の283億1千4百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金の減少額7億7百万円などにより、前期末比6億1千3百万円減の204億8千万円となりました。

純資産の部は、四半期純利益1億5千2百万円の計上などにより、前期末比1億3百万円増の78億3千4百万円となり、自己資本比率は0.9ポイント増の27.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成24年4月27日公表の平成25年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,287	1,120
受取手形及び売掛金	6,776	6,615
建設機材	8,771	8,716
商品	29	22
材料貯蔵品	303	306
未成工事支出金	238	73
その他	286	268
貸倒引当金	△86	△92
流動資産合計	17,607	17,031
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,105	8,105
その他(純額)	1,150	1,157
有形固定資産合計	9,256	9,262
無形固定資産		
	6	4
投資その他の資産		
その他	2,324	2,387
貸倒引当金	△369	△369
投資その他の資産合計	1,954	2,017
固定資産合計	11,217	11,283
資産合計	28,824	28,314

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,850	5,142
短期借入金	9,112	9,395
未払法人税等	34	42
引当金	15	21
その他	1,345	1,368
流動負債合計	16,358	15,970
固定負債		
長期借入金	3,269	3,034
引当金	283	267
その他	1,182	1,208
固定負債合計	4,735	4,510
負債合計	21,093	20,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	2,603	2,689
自己株式	△125	△125
株主資本合計	6,053	6,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	7
土地再評価差額金	1,830	1,830
為替換算調整勘定	△179	△142
その他の包括利益累計額合計	1,677	1,695
純資産合計	7,731	7,834
負債純資産合計	28,824	28,314

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,389	3,913
売上原価	3,763	3,287
売上総利益	626	626
販売費及び一般管理費		
役員報酬	35	32
給料手当及び賞与	235	232
福利厚生費	50	47
地代家賃	51	43
退職給付費用	16	20
その他	114	124
販売費及び一般管理費合計	505	500
営業利益	121	126
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	4
持分法による投資利益	51	71
貸倒引当金戻入額	18	—
その他	8	20
営業外収益合計	82	95
営業外費用		
支払利息	33	26
その他	4	5
営業外費用合計	38	32
経常利益	165	190
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	166	190
法人税、住民税及び事業税	18	38
法人税等調整額	△0	△0
法人税等合計	17	37
少数株主損益調整前四半期純利益	148	152
四半期純利益	148	152

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	148	152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	3	37
その他の包括利益合計	△0	18
四半期包括利益	147	170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147	170
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,493	452	444	4,389	—	4,389
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,493	452	444	4,389	—	4,389
セグメント利益又は損失(△)	278	△18	29	289	△167	121

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△167百万円は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,035	377	500	3,913	—	3,913
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	0	△0	—
計	3,035	377	500	3,914	△0	3,913
セグメント利益又は損失(△)	213	△3	52	262	△136	126

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△136百万円は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。